

編集後記

昨年三月十一日に起きた東日本大震災。その後、私と同級生の高見信雄氏が現地で被災された方々へ、支援物資を送るため、千二小を含めた仲間呼びかけられ、衣類・おもちゃを相当量・複数回送られました。

お仲間に加えていただいているうちに刺激を受け、現地に赴き瓦礫撤去を経験しました。そして今も時折、私が所属するボランティア団体の一員として仮設住宅で避難生活を送られている方々を慰問しています。

しかし被災された人々にとって、最大の激励・感動を与えて下さるのは天皇・皇后両陛下のご訪問であり、明日への活力に繋がるのは両陛下からの励ましのお声であります。

その皇后様自らが、南部久子さまのことで、千里山会の寺澤美代子世話人代表に電話を掛けてこられたことを、この会誌の冒頭で報告できるのは編集に携わる身として、最高の喜びであります。

さらにまた、千里第二小学校の同窓仲間である藤村修内閣官房長官および、推理小説作家 高村薫氏、故黒川高秀氏の弟子にして日本の名医に選ばれた黒澤尚氏を会誌で取り上げることが出来たのも千里山会ならではの、と思います。

今回は柳生先生や高橋先生自らが寄稿していただき、会誌を一層盛り上げて下さいました。

また、いつものことながら私が企画いたしました昨年「島学園千里山中学」や今年の「団塊の世代が過こした千里山時代」、「藤村内閣官房長官の横顔」等には多大な東谷勝司先生のご協力、ご指導を受けております。

毎度のことながら、来年の会誌へのご協力お願いします。タンスや本棚の奥から懐かしい写真を送ってください。

「お役に立てば」や「エーほんと？」にアイデアを下さい。その他、想い出話だけでなくエッセイ、随筆、意見書なんでも結構です。お待ちしております。

(秋原 記)